

2023 年の開校を目指して

(仮称) みんなの学校

第7回将来の公共施設のあり方を考えるワークショップ

小中学校・こども園 新施設建設ワークショップ

2/28(木) 場所
19:00～20:30 高野山中学校

参加者募集

親子でのご参加大歓迎!!

キッズルームをご用意しています。

※保育士さんがいます。



住民のみなさまからのご意見・アイデアをいただきながら高野山中学校周辺に小学校・中学校・こども園・その他教育関連施設を複合化し、2023年4月からの開校を目標に進めていきたいと考えています。

このワークショップに是非、ご参加ください。

○ワークショップはどうやるの？

ワークショップでは、それぞれのグループに分かれてそれぞれの意見を出し合います。

「どんな施設が子供達に必要なか」「こうした方がみんなでも利用しやすい」など

○ワークショップにルールはあるの？

日頃感じていることや本心を気軽に話し合うことを目的にしています。そのため、環境が非常に大切と考えています。ワークショップを始める前には必ず次の3つのルールを確認しています。

①笑顔…笑顔は相手に対するプレゼントです。ワークショップ中、笑顔をキープです。

②人の話をカラダ全身で聞く…うなずきやあいづちを打つなどカラダ全身を使って話を聞きます。

大げさ君・大げさちゃんになりましょう！

③全ての話を受け入れる…どんな話でも全て受け入れます。『いいねー』

すべての意見を尊重します。否定は一切行いません。

○これまでのワークショップで頂いたご意見を抜粋して掲載しています。

申込
方法

総務課地籍管財室 松谷までご連絡ください

TEL 0736-56-3000

Mail soumu@town.koya.wakayama.jp

申込み締切日 2月27日(水)

※お申し込みの際、お名前と参加人数をお知らせください。

※申し込みをできなかった場合でも、当日の参加は可能です。

○ この事業の財源については、公共施設等適正管理推進事業債を検討しています。

公共施設等の適正管理に係る地方債措置の拡充

平成29年度に創設した「公共施設等適正管理推進事業債」について、長寿命化事業の対象を拡充するとともに、ユニバーサルデザイン化に要する経費を追加するなど内容を充実。あわせて、長寿命化、転用、立地適正化、ユニバーサルデザイン化事業について、財政力が弱い団体であっても必要な取組を着実に実施できるよう、財政力に応じて交付税措置率を引上げ。

公共施設等適正管理推進事業債

(期間:平成29年度から平成33年度まで(⑥は平成32年度まで) ※下線部分をH30年度より追加

①集約化・複合化事業

〈対象事業〉延床面積の減少を伴う集約化・複合化事業 (充当率等) 充当率: 90%、交付税措置率: 50%

例 公共施設の集約化・複合化した施設の建設費が10億円だった場合

10億円×充当率90%=9億円(この9億円は国から借金できます。)※1億円は借りる時点で必要!

9億円×交付税措置率50%=4億5千万円は交付税として国から高野町に入ります。

よって実施負担額は、1億円と4億5千万円(30年で返済)で5億5千万円です。

(集約化・複合化のイメージ)



(ポイント)
 ・建物が一体型になっていないと複合化になりません。
 ※ 渡り廊下でつなぐ×
 ・地方債措置の期限は、現在のところ平成33年度まで

○ 建設方法については、デザインビルド方式を検討しています。

従来の設計・施工

デザインビルド(今回検討)

①設計

②施工

(design)

(build)

①設計②施工

(design・build)

メリット

- ・行政が考える建物を設計してもらえない
- ・設計事業者・施工事業者が各自で事業に参加できる
- ・設計・工事等を監視しやすい

デメリット

- ・行政が考える建物を設計できない。
- ・民間の意見が取り入れにくい
- ・建物等の不備の責任が曖昧
- ・契約行為等が分割されるので工事等に時間がかかる

メリット

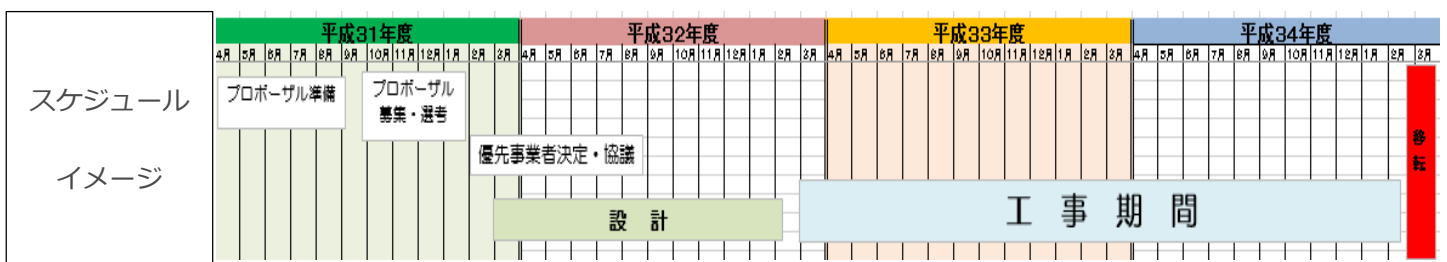
- ・民間の意見を取り入れやすい(民間の知識等を活用)
- ・建物等の不備の責任が明確
- ・契約行為が少ないので工事等の期間が短い
- ・建物の費用を抑制できる

デメリット

- ・設計事業者・施工事業者が各自で事業に参加できない
- ・設計・工事等に民間事業者の自由度が上がるので監視が必要

○ DB方式での事業想定スケジュール

- ・(平成31年)2019年6月までに、こんなこども園・学校施設等を整備してほしいというご意見をまとめたいと考えています。(ワークショップ・アンケート・説明会を開催します。)
- ・(平成31年)2019年8月までにプロポーザルに必要な要求水準書を作成します。
- ・(平成31年)2019年9月プロポーザルによってこの事業の参加事業者を募集します。
- ・(平成31年)2019年12月プロポーザル参加事業者の選考会を行います。
- ・(平成32年)2020年2月頃までには優先交渉事業者決定し、協議を開始したいと考えます。
- ・(平成33年)2021年2月までの1年間をかけて具体的な設計を行い、工事を開始します。
- ・(平成35年)2023年複合施設建設を計画しているため工期は2年間としています。



平成 31 年第 5 回ワークショップでのご意見（抜粋）

『子供の笑顔があふれる町になるアイデア』

- ・子供の特性、個性を大人が理解している
- ・親が仲良く、夫婦がお互いに認めあう
- ・人の嫌がることを言わない。他人と比べない
- ・やりたいことをやってもよい環境
- ・住民が日々ほめ合う（大人の姿を子供に見せることが大切）
- ・朝から大きな声を出す練習をして、元気な挨拶は大人から
- ・みんなが子供達を我が子と感じ、共育していく
- ・いろいろな人とできるだけ多くの話ができる
- ・大人が子供達に優しく接してくれる
- ・大人と子供が一緒になって遊べる

『子供の笑顔あふれる町にあればいいなと思う施設』

- ・地域の方が通学を見守ってくれる場所
- ・動物と触れ合える場所
- ・きれいな学校・給食センター
- ・習い事がなんでも習える施設
- ・寝ころぶことや裸足で遊べる、芝生の公園
- ・大人と子供が一緒になって遊べる公園
- ・いつでも世代を超え、住民と子供達がいつでも交流ができる場所
- ・町中に無料 Wi-Fi
- ・ゲームセンターやスポーツジム、カラオケなどみんなが集える場所
- ・たくさんの本や漫画、映画なども観ることができる図書館
- ・大きなアスレチック
- ・子供の文句を聞いてくれるセンター
- ・住民や子供が一緒になって飾りつけができる巨大なシンボルツリー
- ・制服などを自由に交換、もらえる施設

平成31年 第6回ワークショップでのご意見（抜粋）

『建設計画へのご意見』

- ・敷地（建設予定地）はなぜ中学校周辺なのか
- ・小中一貫校などの問題点になかなか結論が出ていない感じがする。方向性を早く出すべき
- ・今こそ本気で考えて！校舎建設はできるはず
- ・中学校の校舎に問題を抱えていることをわかっている。すぐに計画を進めてほしい
- ・町としてどうしたいのか？どれくらいの費用になるのかもっと情報を開示してほしい。
- ・住民の意見を聴くことも大切だが、なにをするかを明確にしてほしい。

『①日頃感じている子育て、教育に関する提案、アイデア、問題点』

- ・高野町は子育てに不便です。塾やクラブ活動をするためには下まで送迎が必要だが、夫婦共働きの方は、送迎できない
- ・子供に対するクラブ活動（スポーツ）の数が少なすぎる。
- ・子供の視野・可能性をもっと増やして（人がすくないことを理由に可能性をなくさないで）
- ・子供の数が少なくなっていくことは考え、大きすぎる施設は必要ない
- ・高野町のことを学ぶ場をもっと提供してほしい（もっと力をいれるべき）
- ・地域の人と子供達の関わりが大切。小さな町だからできることがある
- ・安心して外で遊べる場所が少ない。
- ・子供が外を歩いていない。子供が歩けばもっとにぎやかになる
- ・人口減少問題に対してもっと取り組んでほしい

『①で話し合ったことを実現するには、どんな子育て施設、学校が必要か』

- ・親がいつでも教育の場を観ることができる環境・施設
- ・公共施設全てを一つのエリアにまとめて連携を強化してほしい
- ・学校の先生や職員、子供達、保護者にとって風通しがよい環境を作してほしい
- ・セキュリティーがしっかりしている建物
- ・施設も大切だが、いろんなイベントを開催するなど、運用面の方が重要
- ・生き物と触れ合える施設
- ・複合化施設（こども園・小中学校・公民館・プチホール・教育委員会・図書館など）
- ・こども園から中学生が交流できる場がある施設
- ・通学に安全な通学路。コミュニティーバスの導入（民間事業者と連携）
- ・地元の人でも気軽に子供達と交流できる学校

『ワークショップへの意見』

- ・ワークショップのアピール不足。参加者が少なすぎる
- ・キッズルームなど、子供のことを見てくれるワークショップが必要（お母さんが出にくい）
- ・アンケートを実施してほしい。
- ・今回のように気軽に意見をいい、他人の意見を尊重できる時間をもっと取ってほしい。